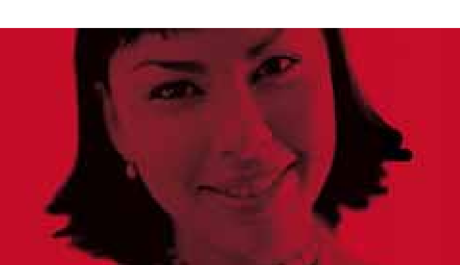
ユーザーズガイド

Phoenix



FirstWare® Recover Pro™ 2004 SP1



著作権

免責事項

商標

連絡先

会社住所：

Phoenix Technologies, Ltd.
915 Murphy Ranch Road
Milpitas, California 95035
USA

ウェブサイト：www.phoenix.com
テクニカルサポート：http://support.phoenix.com

マニュアル改定：2004 年 11 月 10 日

目次

1 はじめに

Phoenix FirstWare Recover Pro 2004 (別名 FirstWare Recover Pro または Recover Pro) は、革新的なシステム復元ユーティリティです。FirstWare Recover Pro は、システムがクラッシュした、ソフトウェアのインストールが失敗した、誤ってファイルを削除した、ハード ディスクを誤ってフォーマットした、といった後に失われたデータを復旧します。

FirstWare Recover Pro には、Windows アプリケーションおよび Phoenix cME (Core Managed Environment) アプリケーションが両方含まれます。cME アプリケーションは、ハード ディスクの高度に保護された領域に格納されています。起動時に F4 キーあるいは製造元に指定された「ホットキー」を押し続けると表示される、cME Console からこの領域にアクセスします。

一度インストールすると、FirstWare Recover Pro は、ハード ディスク全体を常時監視し、ハード ディスク上でのすべての活動を完全に記録します。

バックアップの 3 つの種類

ハード ディスクを回復する必要があるときは、3 種類のバックアップ方式から選択できます。

その 3 種類の方式は次の通りです。

- **増分復元ポイント** (これは [***クイック バックアップ***] オプションで作成される復元ポイントです。クイック スタート ウィザードを参照してください。)

  1 日 1 回や週に 1 回など一定の間隔またはシステムの起動時など、この復元ポイントが作成される頻度を決めます。このバックアップには、Windows からアクセスするか、あるいは起動時に「ホットキー」を押して、cME 隠しパーティション内で FirstWare Recover Pro にアクセスすることができます。

- **スタティック復元ポイント** (これは [***完全バックアップ***] オプションで作成される復元ポイントです。クイック スタート ウィザードを参照してください。)

  これは、プライマリ ドライブの完全なコピーです。通常は、PC 製造元がインストールしていないプログラムをインストールした後で、こ

の復元ポイントを作成します。このバックアップには、Windows からアクセスするか、あるいは起動時に「ホットキー」を押して、cME 隠しパーティション内で FirstWare Recover Pro にアクセスすることができます。

- **工場出荷時イメージ** (この復元ポイントは、Recover Pro に自動的に組み込まれています。)

  この復元イメージは、製造元が作成し、ハード ディスクの保護された安全な領域に保存されています。このイメージをアップデートすることができません。このイメージには、Windows からアクセスするか、または、オペレーティング システムが起動しない場合などは、システムの起動時に「ホットキー」を押してアクセスできます。

ハード ディスクの高速で簡単なリカバリー

数秒では無理ですが、わずか数分で、コンピュータが正常に機能していた時点までハード ディスクの内容をすべて復元することができます。

FirstWare Recover Pro は、汎用のバックアップ ソフトウェアとはまったく異なります。特別な増分バックアップ技術を使い、ハード ディスク空間のわずか 5 ～ 10% しか占有しません。

オペレーティング システムが実行できない場合でも、ハード ディスクの回復ができます。

注記

[*ハード ディスクの復元*] オプションを実行する前に、リカバリーのプロセスおよびその結果ファイルが失われることをよく理解してください。リカバリーを行うと元の状態に戻すことはできません。リカバリーを行う前に「*工場出荷時復元ポイントへいつ復帰するか*」をよく読んで理解してください。

2 Recover Pro を Windows に インストールする

FirstWare Recover Pro を使って復元できる工場出荷時イメージは、ハードディスクの cME 隠しパーティションと呼ばれる高度に保護された領域に格納されます。 工場出荷時イメージおよび、それにアクセスする cME 版の FirstWare Recover Pro は、PC 製造元によりインストールされています。

Windows 版 FirstWare Recover Pro も、Windows から復元ポイントを作成したり復元ポイントに復帰するために必要です。

注記

PC **製造元が** Windows **版** FirstWare Recover Pro **をインストールしている場合は、ユーザーがインストールする必要はないので、この章を読まなくてもかまいません。インストール済か確認するには、**[**スタート**] **メニューの** [**プログラム**] **に** FirstWare Recover Pro **があるか探します。**

PC 製造元が Windows に FirstWare Recover Pro をインストールしていない場合は、自分でインストールする必要があります。その場合、この章の指示に従ってください。

インストール環境

FirstWare Recover Pro がサポートするのは、システムのブート ハード ディスクだけです。ハード ディスクが複数の論理ドライブ (パーティション) に分割されている場合は、どのパーティションをバックアップするか選択します。FirstWare Recover Pro は、プライマリ ドライブ上の 4 つのパーティションしかサポートしません。

インストールする前に

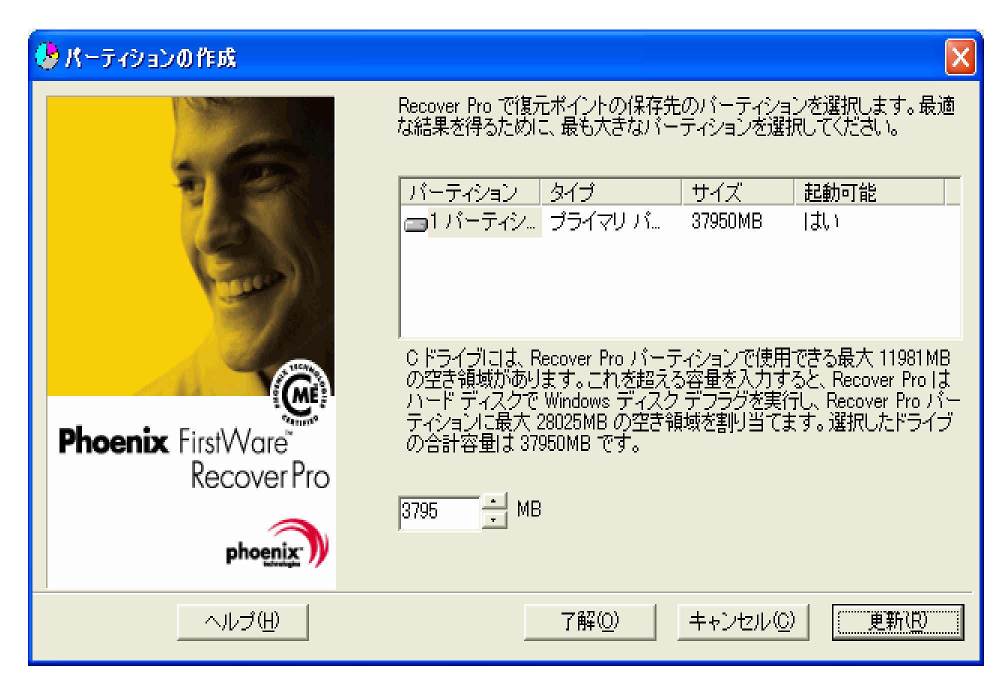
FirstWare Recover Pro をインストールする前に、次の操作を行います。

- 他のすべてのアプリケーションを閉じます。
- アンチウィルス プログラムを無効にします。
- (動作していれば) Norton SystemWorks を無効にします。
- Windows の ScanDisk を実行します。また、このインストール前に PC をかなり使っている場合は、ディスクのデフラグを実行することを推奨します。

インストールの手順

FirstWare Recover Pro は、PC に付属の CD あるいはデスクトップ上のアイコンからインストールできます。Windows 版 FirstWare Recover Pro をインストールするには、次の手順を行います。

1. FirstWare Recover Pro CD からは、**setup.exe** という名前のセットアップ プログラムを実行します。または、デスクトップ上の Recover Pro アイコンをクリックします。設定画面が表示されます。
2. [**続行**] を選択し、次の手順に進みます。使用許諾契約書が表示されます。
3. 使用許諾契約書に同意すると、他のアプリケーションを閉じるように指示があります。
4. [**続行**] を選択すると、[移動先パスを設定] 画面が表示されます。
5. デフォルトのパスを選択するか、FirstWare Recover Pro をインストールする別のフォルダを選択します。[**続行**] を選択します。[パーティションの切り取り] 画面が表示されます。



6. FirstWare Recover Pro が増分復元ポイントを保存する場所を選択します。既存のパーティションを選択するか、パーティションが設定されていない領域を使う場合は [**空き領域**](デフォルト) を選択して、[**OK**] をクリックします。

   [**空き領域**] を選択すると、空き領域に新しい Recover Pro パーティションを作成するよう画面に指示が出ます。[**はい**] をクリックします。

   既存のパーティションを選択すると、新しい Recover Pro パーティションを作成するディスク領域を確保するため、そのパーティションの大きさが変更されます。

注意！

増分復元ポイントを保存するのに使っているパーティションの大きさは変更できません。プライマリ ドライブの少なくとも 5% を割り当てることを推奨します。多くの増分復元ポイントを作成する予定の場合は、さらに多くの領域を割り当てる場合があります。

7. FirstWare Recover Pro をインストールするのに CD を使っている場合は、その指示があれば CD を取り出し、[**今すぐ再起動**] をクリックしてシステムを再起動します。

システムが再起動した後で、FirstWare Recover Pro は初期化を始めます。画面に進行状況が表示されます。

注意！

初期化が完了して指示があるまで、「ホットキー」やスペース バーなどのキーを押さないでください。

8. インストール時にスタティック復元ポイントを作成する選択をした場合は、復元ポイントが作成された後に **Enter** キーを押すように指示があります。または、システムが自動的に再起動するまで待ってもかまいません。スタティック復元ポイントを作成する選択をしなかった場合は、システムは通常どおり起動を続けます。

Windows 版 Recover Pro および Phoenix cME を削除する

Windows 版 FirstWare Recover Pro をアンインストールすることも、Phoenix cME を完全に削除することもできます。

注記

Phoenix FirstWare Recover Pro **または** Phoenix cME **をアンインストールするには、管理者特権が必要です。**

Recover Pro または cME を削除するには、次の手順を実行します。

1. Windows タスクバーで [設定]、[コントロール パネル]、[アプリケーションの追加と削除] の順に選択します ([**スタート**]>[**設定**]>[**コントロール パネル**]>[**プログラムの追加と削除**])。
2. Phoenix FirstWare Recover Pro または Phoenix cME を選択して、[変更と**削除**] をクリックします。確認ダイアログが表示されます。
3. Recover Pro または Phoenix cME を削除することを確認します。
4. Recover Pro を削除する場合は、パスワードを入力するよう求められる可能性があります。

注記

Phoenix FirstWare Recover Pro **のパスワードは、管理者特権のあるユーザーのみセットアップできます。**

パスワードを入力すると、完全に Recover Pro を削除することができます。パスワードを設定していない場合は、パスワード メニューが表示されます。

コンピュータが再起動すると、Windows 版 FirstWare Recover Pro が完全に削除されます。工場出荷時復元領域およびスタティック復元領域は cME 隠しパーティションから削除されません。増分復元ポイントおよび増分復元パーティション、Windows クライアントだけが削除されます。

3 クイック スタート ウィザードを使用する

FirstWare Recover Pro には、ハード ディスクのバックアップの作成と復元を行うための**クイック スタート ウィザード**が用意されています。Recover Pro の高度な機能を使用するには、通常の Recover Pro インターフェースを使用してください (「*Recover Pro インターフェースを使う*」を参照)。

クイック スタート ウィザードにアクセスする

FirstWare Recover Pro を開くには、Windows のタスクバーから [**スタート**] を選択し、[**プログラム**]、[Phoenix cME]、[Phoenix FirstWare **Recover Pro 2004**] を選択します。

クイック スタート画面が表示されます。



- **[クイック バックアップ]**

  Recover Pro のクイック バックアップは、最後のクイック バックアップ以降の変更を追跡し、それを増分クイック バックアップとして保存します。1 日 1 回や週に 1 回など一定の間隔またはシステムの起動時など、新しいクイック バックアップを作成する頻度を指定できます。クイック バックアップの利点は、復元ポイント イメージが他の復元ポイント イメージよりも小さくなることです。ただし、このオプションを使用する場合は、ハード ディスクに対して行う変更の頻度に合ったスケジュールを設定する必要があります。たとえば、多数のドキュメントを作成する場合は、少なくとも 1 日に 1 回はクイック バックアップを作成する必要があります。「ライト」ユーザーであり、主にインターネットと電子メールにアクセスするためにコンピュータを使用している場合は、多数の新規データを保存しないため、頻度の低いクイック バックアップを設定できます。このバックアップには、Windows からアクセスするか、あるいは「ホットキー」を押して、cME 隠しパーティション内で FirstWare Recover Pro にアクセスすることができます。

  作成できるクイック バックアップの数は、ハード ディスクの容量およびクイック バックアップ用に作成したパーティションの大きさによります。

  クイック バックアップに名前を付けない場合は、デフォルトで「*新しい復元ポイント*」という名前で一覧に表示されます。

  *信頼できない復元ポイント*は、特別な種類のクイック バックアップです。システム起動時に FirstWare Recover Pro は、最新のクイック バックアップのデータ整合性を確認し、何か不整合性が見つかれば、そのクイック バックアップを「信頼できない」とします。

- **[完全バックアップ]**

  注記

  ハードディスクの空き容量が不十分な場合、完全バックアップ機能は使用できません

  これは、ハード ディスクの完全なコピーです。通常は、PC 製造元がインストールしていないプログラムをインストールした後で、この種の復元ポイント イメージを作成します。このバックアップには、Windows からアクセスするか、あるいは「ホットキー」を押して、cME 隠しパーティション内で FirstWare Recover Pro にアクセスすることができます。コンピュータに障害が発生した場合は、完全バックアップ イメージを使用するとソフトウェア インストール パッケージを使用しなくてもすべてのア

プリケーションを自動的に復元できるため、この完全バックアップは新しいアプリケーションを頻繁にインストールするユーザーに最適です。

- **[コンピュータを復元]**

  このオプションでは、最後に保存したクイック バックアップをコンピュータに復元できます。

バックアップを作成する

クイック バックアップと完全バックアップを作成および削除できます。工場出荷時復元ポイントは、ハード ディスクの製造元の工場出荷時イメージであり、変更できません。

> **注記**
>
> **クイック バックアップを作成する前に、すべてのドキュメントを保存し、その他すべてのアプリケーションを終了してください。これで、**Recover Pro **は最新データをバックアップできます。**

クイック バックアップを作成する

クイック バックアップは、次の指示に従って、いつでも手動で作成できます。

1. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
2. Windows のタスクバーで [**スタート**] を選択し、[**プログラム**]、[Phoenix cME]、[Phoenix FirstWare Recover Pro 2004] の順に選択します。クイック スタート メニューが表示されます。
3. [Phoenix FirstWare Recover Pro クイック スタート] 画面で、[**クイック バックアップ**] を選択します。
4. 新しい復元ポイントが作成されたとダイアログに表示されたら、[**閉じる**] をクリックします。コンピュータを再起動する必要はありません。

完全バックアップを作成する

完全バックアップは 1 度に 1 つしか作成できません。新しい完全バックアップを作成する、あるいは現在の完全バックアップを変更するには、次の手順を行います。

> **注意!**

完全バックアップを新規作成すると、現在の完全バックアップとすべてのクイック バックアップがクリアされます。

1. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
2. Windows のタスクバーで [**スタート**] を選択し、[**プログラム**]、[Phoenix cME]、[Phoenix FirstWare **Recover Pro 2004**] の順に選択します。
3. [Phoenix FirstWare Recover Pro クイック スタート] 画面で、[**完全バックアップ**] を選択します。
4. ハード ディスクに複数のパーティションがある場合、Recover Pro はどのパーティションをバックアップに含めるかを確認します。
5. コンピュータを再起動するように指示されます。再起動時に新しい完全バックアップが作成されます。

> **注記**
>
> **新しい完全バックアップのサイズが、PC 製造元によって予約されているディスク領域よりも大きい場合は、より少ないパーティションのバックアップを選択できます。**

バックアップ（復元ポイント）から回復する

任意のバックアップ (復元ポイント) にハード ディスクを復元することができます。Recover Pro クイック スタートを使用して、Windows からシステムを回復できます。

Windows が機能していない場合は、29 ページの「*cME Console から増分復元ポイントあるいはスタティック復元ポイントに復帰する*」または「*工場出荷時復元ポイントへ復帰する*」を参照してください。

> **注記**
>
> ***クイック バックアップ*に復帰すると、そのポイントの後で作成された既存のクイック バックアップはすべてクリアされます。**
>
> ***完全バックアップ*に復帰すると、すべてのクイック バックアップが永久に削除されます。**

Windows からクイック バックアップを回復する

Windows オペレーティング システムが動作している場合は、次の手順に従って、システムをクイック バックアップに復元します。

1. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
2. Windows のタスクバーで [**スタート**] を選択し、[**プログラム**]、[Phoenix cME]、[Phoenix FirstWare **Recover Pro 2004**] の順に選択します。
3. [Phoenix FirstWare Recover Pro クイック スタート] 画面で、[**コンピュータを復元**] を選択します。
4. 警告画面が表示されます。この警告は、情報の作成、変更、または削除が***選択した復元ポイントの日付より後***に行われている場合に、先に進むとそれらの情報が失われることを意味します。



- [**次へ**] をクリックするとコンピュータが復元されます。
- [**キャンセル**] をクリックすると、[Phoenix FirstWare Recover Pro クイック スタート] メニューに戻ります。

5. [**次へ**] をクリックした場合、コンピュータは最新のクイック バックアップで再起動されます。

cME Console から復元ポイントを回復する

次の手順に従って、システムを以前のクイック バックアップ、完全バックアップ、または元の工場出荷時の状態に復元します。

1. コンピュータの電源を入れます。すでにコンピュータが起動している場合はリブート (再起動またはリセット) してください。
2. 起動後、画面に何か (ロゴ、画像、テキスト) が表示されたら、すぐに **F4** キーを***押し続けます***。(通常は **F4** キーが cME Console を起動する「ホットキー」です。このホットキーでうまく行かない場合は、PC 製造元に問い合わせてください。)

   cME Console 画面が表示されます。これは保護された領域 (cME 隠しパーティション) のアプリケーションにアクセスするための画面です。

注記

Phoenix cME Console **の初期画面が、この図と一致しない場合があります。使用可能なアプリケーションの数は一定ではありません。**



3. 機能メニューの**[保護／リカバリー]**をクリックします。**Phoenix FirstWare Recover Pro** をクリックします。

   [*Phoenix FirstWare Recover Pro クイック スタート*] 画面が表示されます。



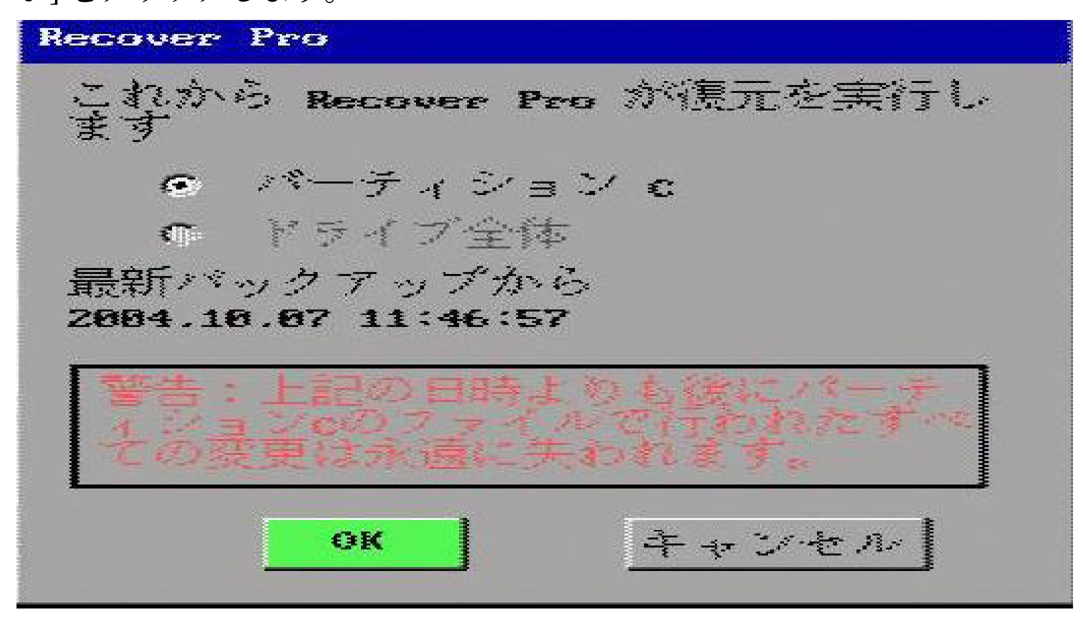
[Phoenix FirstWare Recover Pro クイック スタート] メニューから、次のボタンを選択できます。

- **[コンピュータの復元]**—このボタンでは、最新のクイック バックアップを復元できます。
- **[**バックアップ **ポイントの選択]**—このボタンでは、回復する復元ポイントを選択できます。

4. **[復元ポイントの選択]** を選択します。復元ポイントの一覧が表示されます。



5. 回復する復元ポイントを選択し、[**復元**] を選択します。
6. 警告画面が表示されます。この警告は、情報の作成、変更、または削除が***選択した復元ポイントの日付より後***に行われている場合に、先に進むとそれらの情報が失われることを意味します。次に進むには、[**はい**] をクリックします。



7. Recover Pro がコンピュータを再起動し、ハード ディスクは選択した復元ポイントまで復帰します。

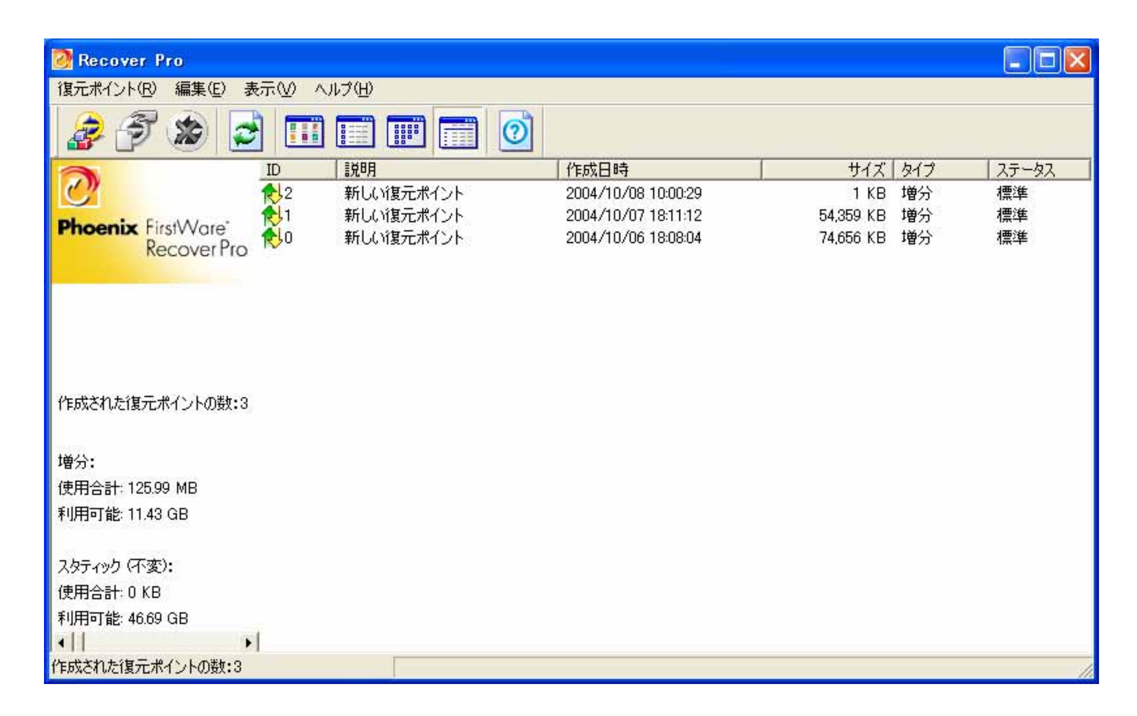
4 Recover Pro インターフェースを使う

クイック スタート ウィザードを使用しないことを選択した場合は、通常の Recover Pro インターフェースを使用できます。このインターフェースにアクセスするには、ウィザードで [詳細] ボタンを選択するか、Windows の [スタート] メニューから [Recover Pro] を選択します。

- Windows 版アプリケーション。詳細リカバリー オプションには Windows 版アプリケーションを使用できます。
- cME (Core Managed Environment) アプリケーション。cME アプリケーションは、cME 隠しパーティションに格納されており、Windows が機能していないときでさえ起動時に「ホットキー」を押すとアクセス可能になり、保護機能が向上しています。

Recover Pro Windows アプリケーションにアクセスする

FirstWare Recover Pro を開くには、Windows のタスクバーから [**スタート**] を選択し、[**プログラム**]、[Phoenix cME]、[Phoenix FirstWare **Recover Pro 2004**] を選択します。



Recover Pro のメイン画面

FirstWare Recover Pro のメイン画面は、いくつかの領域から構成されます。

- **メニュー** — ウィンドウの上部にあるこのバーには、FirstWare Recover Pro の操作を行うのに使える、すべてのオプションが含まれています。
- **ツール バー** — ツール バーを使ってメニュー バーでアクセスできるのと同じ機能にすばやくアクセスできます。

注記

ツールバーのアイコンの上にカーソルを置くと、ツールのヒントが表示されます。

- **情報領域** — 画面の主な領域には、復元ポイントがすべて一覧表示されます。復元ポイントを選択したり復元ポイントの名前を変更したりできます。

注記

復元ポイントを右クリックするとメニューにアクセスできます。メニューやツール バーを選択するのと同じです。

- **ステータス バー** — ステータス バーは復元ポイントのプロパティを表示します。

メニュー選択項目

Recover Pro のメニューには次の項目が含まれます。

復元ポイント

- **新規**：新しい復元ポイントを作成します。
- **復元**：保存してあるスタティック復元ポイントや増分復元ポイント、工場出荷時復元ポイントに復帰します。
- **ロック**：現在ロック解除されている選択したスタティック復元ポイントをロックします。選択したスタティック復元ポイントがロックされている場合は、このオプションは [ロック解除] と表示されます。
- **削除**：選択したスタティック復元ポイントや増分復元ポイント、信頼できない復元ポイントを削除します。
- **名前変更**：選択した復元ポイントの名前を変更します。
- **プロパティ**：選択した復元ポイントの [プロパティ] ダイアログ ボックスを開きます。
- **終了**：Recover Pro を終了します。

編集

- **すべて選択**：(スタティック復元ポイントおよび増分復元ポイントを含む) すべての復元ポイントを選択します。
- **選択を反転**：復元ポイントが選択 (ハイライト) されている場合は、すべての復元ポイントの選択を解除します。復元ポイントが選択されていない場合は、すべての復元ポイントを選択します。

表示

- **ツールバー**：ツールバーを表示します。
- **大きいアイコン**：復元ポイントを大きいアイコンで表示します。
- **小さいアイコン**：復元ポイントを小さいアイコンで表示します。
- **一覧**：復元ポイントの一覧を表示します。
- **詳細**：復元ポイントの詳細を表示します。
- **更新**：現在の復元ポイントの一覧を更新します。
- **オプション**：[オプション] ウィンドウを開きます。

ヘルプ

- **ヘルプ トピック**：FirstWare Recover Pro のオンライン ヘルプを開き、FirstWare Recover Pro の使用法に関する情報を提供します。
- **FirstWare Recover Pro について**：バージョンおよび著作権に関する情報を表示します。

Recover Pro のツールバー ボタン

FirstWare Recover Pro のツールバー ボタンを使うと、FirstWare Recover Pro の主な機能をすばやく便利に実行できます。

ボタン		説明
	新規	新しい復元ポイントを手動で追加します
	復元	保存してある増分復元ポイントやスタティック復元ポイントに復帰します
	削除	選択したスタティック復元ポイントや増分復元ポイントを削除します
	更新	現在の復元ポイントの一覧を更新します
	大きいアイコン	復元ポイントを大きいアイコンで表示します
	小さいアイコン	復元ポイントを小さいアイコンで表示します
	一覧	復元ポイントの一覧を表示します
	詳細	復元ポイントの詳細を表示します
	ヘルプ ファイルの表示	Recover Pro のヘルプ ファイルを表示します

マウスの右クリック メニュー

Recover Pro には 2 つの異なったマウス右クリック メニューがあります。

- 復元ポイントを選択しているときに表示されるメニューがあります。
- また復元ポイントが選択されていないときに表示されるメニューもあります。

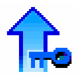
これらのメニューには次のオプションがあります。

- **新規**：新しい復元ポイントを作成します。
- **復元**：保存してあるスタティック復元ポイントや増分復元ポイントに復帰します。
- **ロック**：現在ロック解除されている選択したスタティック復元ポイントをロックします。選択したスタティック復元ポイントがロックされている場合は、このオプションは [ロック解除] と表示されます。

- **削除**：選択したスタティック復元ポイントや増分復元ポイント、信頼できない復元ポイントを削除します。
- **名前変更**：選択した復元ポイントの名前を変更します。
- **プロパティ**：[プロパティ] ダイアログ ボックスを開きます。
- **更新**：現在の復元ポイントの一覧を更新します。
- **オプション**：[オプション] ウィンドウを開きます。

復元ポイント アイコン

復元ポイント アイコンは、各復元ポイントの横に表示され、その復元ポイントに関する情報を提供します。

アイコン	説明
	**ロックされたスタティック復元ポイントまたは工場出荷時復元ポイント**
	**ロック解除されたスタティック復元ポイントまたは工場出荷時復元ポイント**
	**通常の増分復元ポイント**
	**信頼できない増分復元ポイント**

復元ポイントに関する詳細

注記

FirstWare Recover Pro **は、ハード ディスクをロックできない場合は、新しい復元ポイントを作成しません。新しい復元ポイントを作成するときは、*すべてのアプリケーションを閉じてください。***

この画面には、**増分**、**スタティック**、**工場出荷時**という 3 種類の復元ポイントが表示されます。

- **増分復元ポイント** — エンドユーザーが作成したバックアップ。自動で作成したか、手動で作成したかに関係なく、複数の増分復元ポイントを作成することができます。作成できる増分復元ポイントの数は、ハード ディスクの容量および増分復元ポイント用に作成したパーティションの大きさによります。

増分復元ポイントは、名前を付けないと、「*新しい復元ポイント*」という名前で一覧に表示されます。

*信頼できない復元ポイント*は、特別な種類の増分復元ポイントです。システム起動時に FirstWare Recover Pro は、最新の増分復元ポイントのデータ整合性を確認し、何か不整合性が見つかれば、その復元ポイントを「信頼できない」とします。

- **スタティック復元ポイント** — エンドユーザーが作成した、プライマリ ドライブあるいはプライマリ ドライブで選択したパーティションに格納された全データのバックアップ。
- **工場出荷時復元ポイント** — PC 製造元が作成した、ハード ディスクのイメージ ファイル。

注記

FirstWare Recover Pro **がハード ディスクを監視していない間にデータが変更されると、不整合性が発生する可能性があります。信頼できない増分復元ポイントから復元することは推奨できません。**

cME 版 Recover Pro にアクセスする

Windows が機能していないときは、cME 版の FirstWare Recover Pro にアクセスすることができます。PC に電源を入れた直後の起動時に、アクセスします。

cME 版の FirstWare Recover Pro にアクセスするには

1. コンピュータの電源を入れます。すでにコンピュータが起動している場合はリブート (再起動またはリセット) してください。
2. 起動後、画面に何か (ロゴ、画像、テキスト) が表示されたら、すぐに **F4** キーを*押し続けます*。(通常は **F4** キーが Recover Pro を起動する「ホット キー」です。このホットキーでうまく行かない場合は、PC 製造元に問い合わせてください。)

cME Console 画面が表示されます。これは、PC 製造元が cME 隠しパーティションにインストールした cME アプリケーションへアクセスするための画面です。



3. 機能メニューの[保護／リカバリー]をクリックします。Phoenix FirstWare Recover Pro をクリックします。

   FirstWare Recover Pro の選択画面が表示されます。

4. 復元ポイントの復元手順については、56 ページの「*cME 版 Recover Pro を実行する*」のセクションに進んでください。

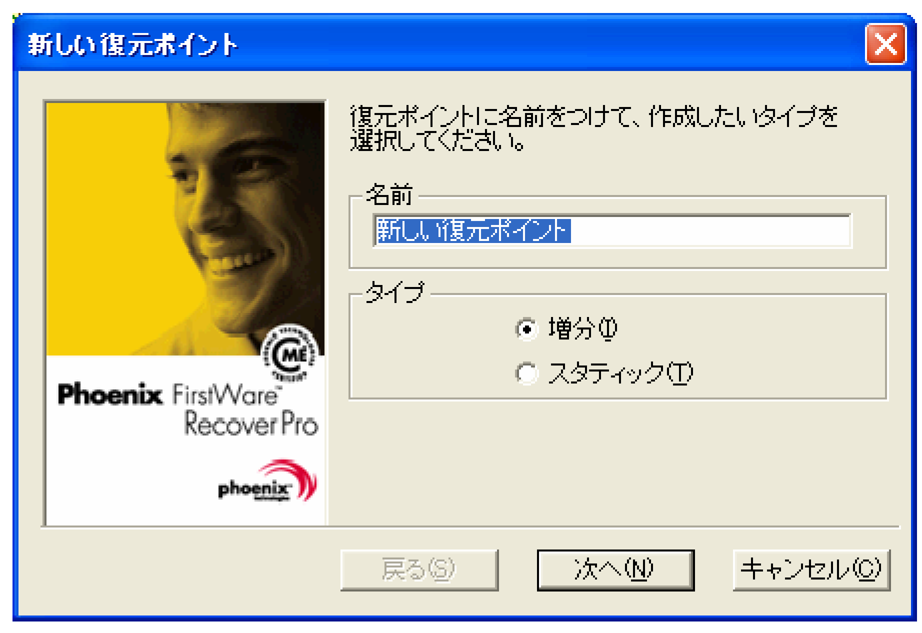
5 復元ポイントを作成および復元する

増分復元ポイントおよびスタティック復元ポイントは作成、削除することができます。すべての種類の復元ポイントは復元することができます。この章では、これらのタスクおよび復元ポイントに関係する他のタスクに関する手順を説明します。復元ポイントの自動作成のスケジュールについては、「*Recover Pro のオプションを設定する*」を参照してください。

新しい増分復元ポイントを作成する

増分復元ポイントは、次の指示に従って、いつでも手動で作成することができます。

1. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
2. 新しい復元ポイントを追加するには、メニューから [**復元ポイント**]、[**新規**] を選択し、[新しい復元ポイント] ダイアログ ボックスを開きます。



3. [**増分**] を選択します。
4. 名前を入力するか、デフォルトの名前を使います。増分復元ポイントは複数作成できます。

5. [**次へ**] をクリックします。警告が表示されます。警告ダイアログで [**次へ**] をクリックします。

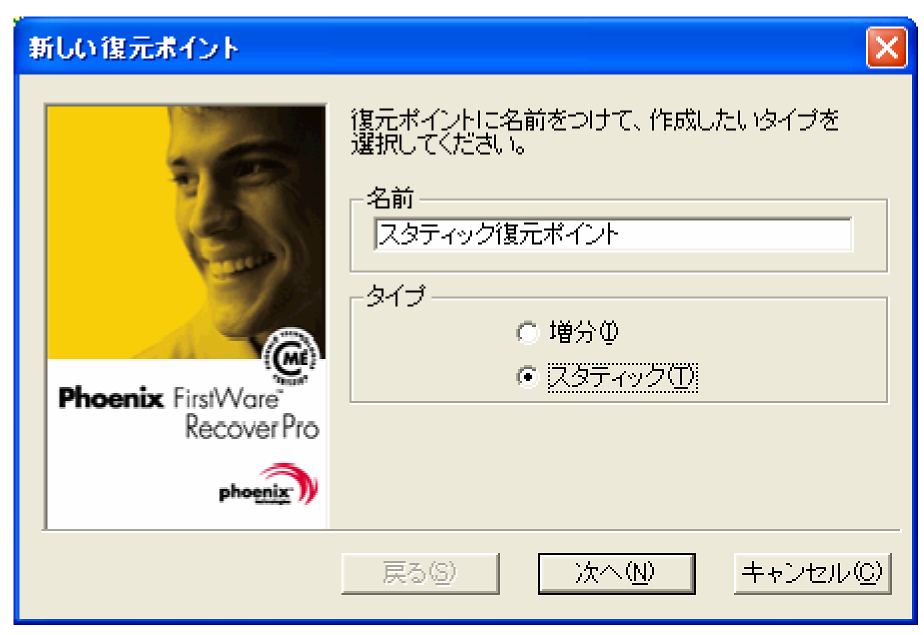
   現在プログラムがハード ディスクに何か書き込んでいる場合は、FirstWare Recover Pro は復元ポイントの作成を止め、ハード ディスクをロックします。(コンピュータがこの時期にロックした場合は、手動でコンピュータを再起動し、上の手順を再び行います。)

6. 新しい復元ポイントが作成されたとダイアログに表示されたら、[**閉じる**] をクリックします。コンピュータを再起動する必要はありません。

スタティック復元ポイントを作成および更新する

スタティック復元ポイントは一度に 1 つしか作成できません。新しいスタティック復元ポイントを作成する、あるいは現在のスタティック復元ポイントを変更するには、次の手順を行います。

1. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
2. [**復元ポイント**]、[**新規**] を選択します。[新しい復元ポイント] ダイアログ ボックスが表示されます。



3. [**スタティック**] を選択します。
4. この復元ポイントの名前を を入力するか、デフォルトの名前を使います。
5. 次に進むには [**次へ**] をクリックします。注意が表示されます。

注意！

新しいスタティック復元ポイントを作成すると、現在のスタティック復元ポイントがクリアされます。

6. [**次へ**] をクリックして、新しいスタティック復元ポイントを作成することを確認します。
7. FirstWare Recover Pro にバックアップを希望する論理ドライブ (パーティション) を選択します。

注記

新しいスタティック復元ポイントの大きさが、PC 製造元が予約したディスク領域より大きい場合は、復元ポイントを作成できず、[次へ] ボタンは無効になります。この場合、論理ドライブのいくつかの選択を解除し、新しいスタティック復元ポイントを小さくしてみてください。

8. コンピュータを再起動するよう表示されます。再起動時に新しいスタティック復元ポイントが作成されます。[**次へ**] を選択して、新しいスタティック復元ポイントを作成します。

Windows から増分復元ポイントあるいはスタティック復元ポイントに復帰する

任意のバックアップ (復元ポイント) にハード ディスクを復元することができます。増分復元ポイントを最初に使って、システムの復元を試みることを推奨します。システムがまだ正常に機能していない場合は、スタティック復元オプションを使用します。作成した復元ポイントにハードディスクを復元するには、次の手順を行います。Windows が機能していない場合でも、システムをスタティック復元ポイントに復元できますが、手順は異なります。29 ページの「*cME Console から増分復元ポイントあるいはスタティック復元ポイントに復帰する*」を参照してください。

復元ポイントに関する情報を表示するには、Recover Pro メイン画面で復元ポイントをダブルクリックします。

***増分復元ポイント*に復帰すると、そのポイントの後で作成された既存の増分復元ポイントはすべてクリアされます。**

***スタティック復元ポイント*へ復帰すると、増分復元ポイントはすべて永久に削除されます。**

Windows からスタティック復元ポイントあるいは増分復元ポイントにシステムを復元するには

1. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
2. Recover Pro メイン画面で、復元したい復元ポイントをハイライトします。
3. [**復元ポイント**]、[**復元**] を選択します。

   [復元] ダイアログ ボックスが表示されます。



4. 復元するドライブ (C：ドライブのみかハード ディスク全体) を選択し、[**次へ**] をクリックします。
5. 確認画面で、[**次へ**] をクリックし、表示された復元処理を進めることを確認します。Recover Pro がコンピュータを再起動し、ハード ディスクは選択した復元ポイントまで復帰します。

注意！

この復元ポイントより後に作成されたファイルはすべて削除されます。

コンピュータを再起動したときに、復元は完了します。

cME Console から増分復元ポイントあるいはスタティック復元ポイントに復帰する

Windows が機能していない場合でも、システムを増分復元ポイントまたはスタティック復元ポイントに復元できます。次の手順に従います。

1. コンピュータの電源を入れます。すでにコンピュータが起動している場合はリブート (再起動またはリセット) してください。
2. 起動後、画面に何か (ロゴ、画像、テキスト) が表示されたら、すぐに **F4** キーを*押し続けます*。(通常は **F4** キーが cME Console を起動する「ホットキー」です。このホットキーでうまく行かない場合は、PC 製造元に問い合わせてください。)

   cME Console 画面が表示されます。これは保護された領域 (cME 隠しパーティション) のアプリケーションにアクセスするための画面です。



注記

Phoenix cME Console **の初期画面が、この図と一致しない場合があります。使用可能なアプリケーションの数は一定ではありません。**

3. 機能メニューの[保護／リカバリー]をクリックします。Phoenix FirstWare Recover Pro クリックします (または **Tab** キーと **Enter** キーを押します)。

   FirstWare Recover Pro の選択画面が表示されます。

   注記

   「*cME Console から復元ポイントを回復する*」を参照してください。

4. [**スタティック復元ポイント**] または [**増分復元ポイント**] を選択します。
5. システムを復帰する復元ポイントを選択します。
6. 増分復元ポイントの場合は、プライマリ パーティション (デフォルト) またはディスク全体の復元を選択し、[**OK**] を選択します。

   スタティック復元ポイントの場合は、[**復元**] を選択し、ドライブを選択します。

7. 表示される注意を読み、[**OK**] を選択します。

   復元の進捗が画面に表示されます。

8. メッセージが表示されたら、コンピュータを再起動します。

   システムが機能する状態に戻らない場合は、工場出荷時復元ポイントへの復元が必要である可能性があります。

工場出荷時復元ポイントへ復帰する

注意！

工場出荷時復元は、増分復元ポイントとスタティック復元ポイントのどちらでもシステムが機能する状態に戻らなかったときだけ使ってください。工場出荷時復元を実行すると、ユーザー データおよびアプリケーション、増分復元ポイントがすべて永久に削除されます。現在のファイルは PC に元々付属していたファイルに置き換わります。

元の工場出荷時復元ポイントへハード ディスクを復元するには 2 つの方法があります。

- システム起動時に「ホットキー」から cME Console を起動する方法。Windows が機能していないときは、この方法を使います。
- Recover Pro Windows アプリケーションを使う方法。Windows が機能しているときは、この方法を使います。

出荷時復元ポイントから復元するときは、51 ページの「*Recover Pro の工場出荷時イメージを復元する*」を参照してください。

スタティック復元ポイントをロックおよびロック解除する

復元ポイントがロックされているときは、復元ポイントを削除することができません。

スタティック復元ポイントをロック解除する

スタティック復元ポイントは、ロックされている場合、ロック解除することができます。復元ポイントを削除するには、まずロック解除をしなければなりません。

スタティック復元ポイントをロック解除するには

1. Recover Pro でスタティック復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**ロック解除**] を選択します。

スタティック復元ポイントをロックする

スタティック復元ポイントをロック解除した後で再びロックするには、この機能を使います。この機能は、復元ポイントが削除されるのを防ぎます。

スタティック復元ポイントをロックするには

1. Recover Pro メイン画面で、スタティック復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**ロック**] を選択します。

注記

ロックおよびロック解除機能を備えているのはスタティック復元ポイントだけです。増分復元ポイントや工場出荷時復元ポイントはロックおよびロック解除できません。

スタティック復元ポイントを削除する

スタティック復元ポイントは削除できますが、出荷時復元ポイントは削除できません。スタティック復元ポイントを削除するとき、Recover Pro は増分復元ポイントもすべて削除します。

スタティック復元ポイントを削除するには

1. Recover Pro メイン画面で、スタティック復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**削除**] を選択します。
3. スタティック復元ポイントがロックされている場合は、ロック解除します。関係するメッセージ ダイアログで [**OK**] をクリックします。
4. スタティック復元ポイントを削除すると、既存の復元ポイント (工場出荷時ではなくスタティック、増分復元ポイント) がすべて削除されるという警告が表示されます。次に進むには [**はい**] を選択します。[復元ポイントを削除します] ダイアログが表示されます。
5. 一覧に表示された復元ポイントをすべて削除したいことを確認します。次に進むには [**次へ**] をクリックします。

   Recover Pro は PC を再起動し、一覧に表示された復元ポイントを削除します。

注意 !

スタティック復元ポイントを削除すると、増分復元ポイントはすべて削除されます。

増分復元ポイントを削除する

増分復元ポイントは、増分復元ポイントを含むパーティションが、[オプション] メニューで指定された残り領域に達した場合にのみ削除できます。(49 ページの「*空き領域不足メッセージを設定する*」を参照してください。) デフォルトは 15% ですが、[Recover Pro オプション] タブで変更できます。例えば、残りの空き領域が 30% で警告メッセージが表示されるように設定してある場合は、そのパーティションの残り領域が 30% (以下) になったときだけ、増分復元ポイントを削除することができます。

増分復元ポイントを削除するには

1. Recover Pro メイン画面で、増分復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**削除**] を選択します。

   復元ポイントを削除すると、それ以前の増分復元ポイントが削除されることをダイアログ ボックスが警告します。次に進むには [**はい**] を選択します。

   [復元ポイントを削除します] ダイアログが表示されます。
3. 一覧に表示された復元ポイントをすべて削除したいことを確認します。次に進むには [**次へ**] をクリックします。

   Recover Pro は PC を再起動し、一覧に表示された復元ポイントを削除します。

注記

増分復元ポイントを削除できるのは、空き領域が [オプション] ダイアログで指定した割合を下回ったときだけです。

信頼できない復元ポイントを削除する

信頼できない復元ポイントは、特別な種類の増分復元ポイントです。システム起動時に FirstWare Recover Pro は、最新の増分復元ポイントのデータ整合性を確認し、何か不整合性が見つかれば、その復元ポイントを「信頼できない」とします。信頼できない復元ポイントを削除するときは、Recover Pro は、削除する復元ポイントより前に作成された増分復元ポイントもすべて削除します。

信頼できない復元ポイントを削除するには

1. Recover Pro メイン画面で、信頼できない復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**削除**] を選択します。

   信頼できない復元ポイントを削除すると、それ以前の増分復元ポイントが削除されることをダイアログ ボックスが警告します。次に進むには [**はい**] を選択します。

   [復元ポイントを削除します] ダイアログが表示されます。
3. 一覧に表示された復元ポイントをすべて削除することを確認します。次に進むには [**次へ**] をクリックします。

   Recover Pro は PC を再起動し、一覧に表示された復元ポイントを削除します。

復元ポイントの名前を変更する

復元ポイントの名前を変更するには

1. Recover Pro メイン画面で、復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**名前変更**] を選択します。
3. 希望する名前を入力します (255 文字まで)。

復元ポイントのプロパティを表示する

スタティック復元ポイントあるいは増分復元ポイントに関する情報を表示するには

1. Recover Pro メイン画面で、復元ポイントをハイライトします。
2. [**復元ポイント**]、[**プロパティ**] を選択します。

Recover Pro を終了する

Recover Pro を終了するには

- Recover Pro メイン画面で、[**復元ポイント**]、[**終了**] を選択します。

Recover Pro はバックグラウンドで動作を続けます。

6　リカバリー CD/DVD を作成する

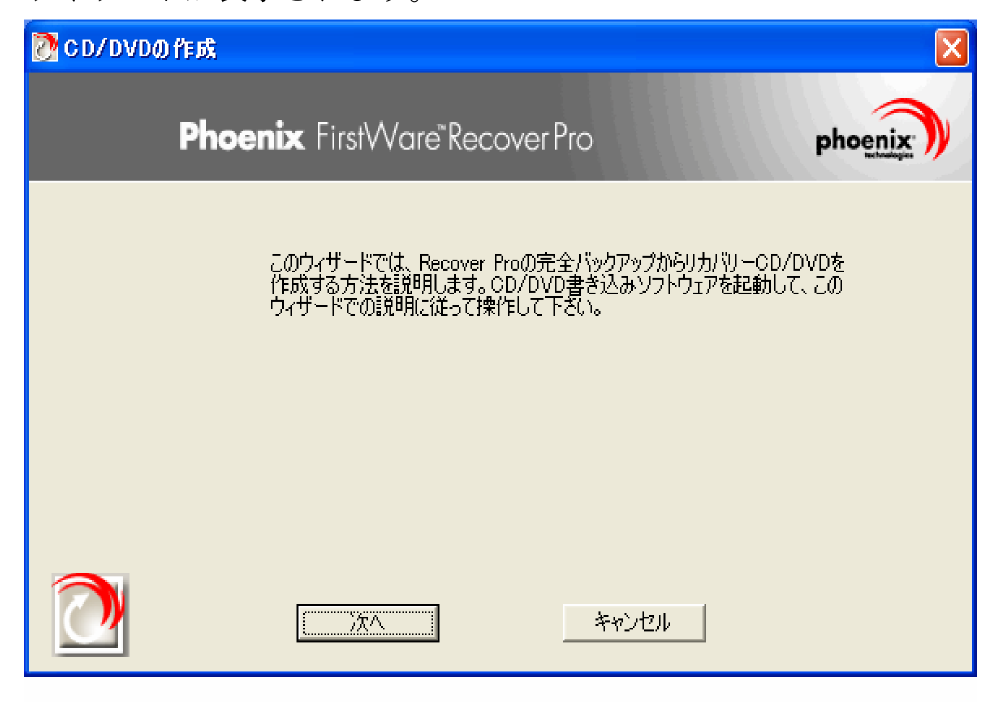
この章では、リカバリー CD/DVD の作成に関する情報を記載しています。リカバリー CD/DVD ウィザードでは、Recover Pro の完全バックアップからリカバリー CD または DVD を作成する方法を説明します。

リカバリー CD/DVD は、自己包含型のブート可能なリカバリー イメージ ファイルであり、リカバリー ソフトウェアとバックアップ データの両方が格納されています。リカバリー イメージ ファイル セットのサイズに応じて、複数の CD/DVD ディスクが必要な場合があります。(通常の 1 枚の CD のストレージ容量は 650MB、1 枚の DVD は 4.7GB です。)

リカバリー ディスクを作成する

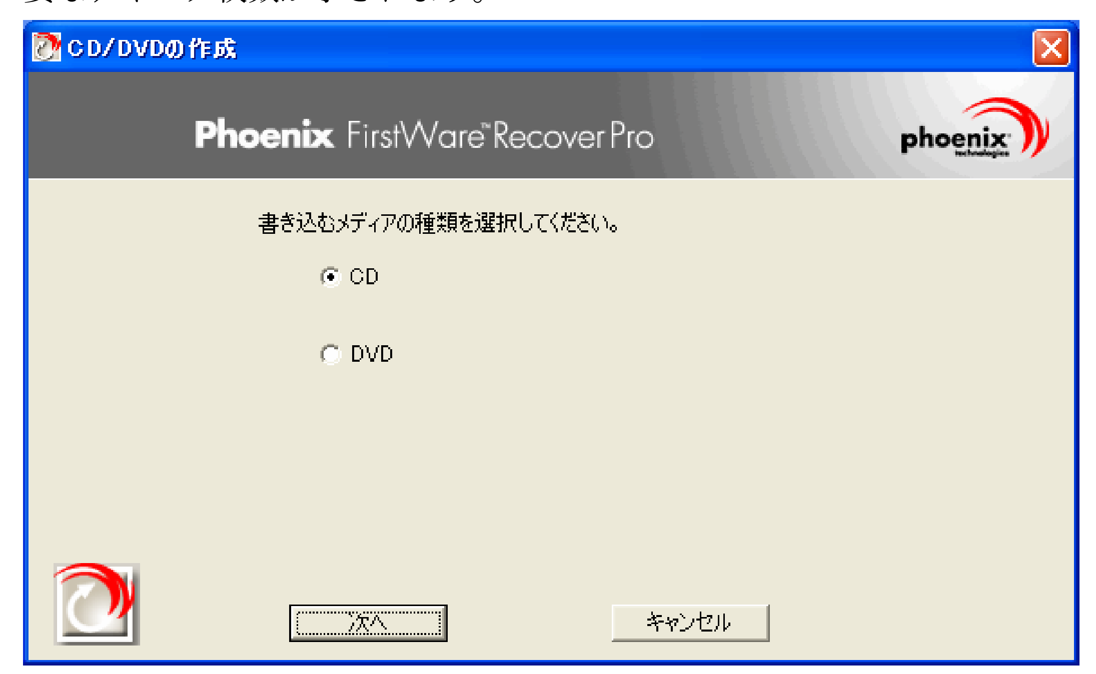
リカバリー CD/DVD を作成するには

1. Windows の [スタート] メニューで、[**スタート**]>[**プログラム**]>[**Phoenix cME**]>[**リカバリー CD DVD の作成**] を選択します。ウィザードが表示されます。



2. CD または DVD 書き込みソフトウェア (CD または DVD にファイルをコピーできます) を起動し、[**次へ**] をクリックして先に進みます。中止するときは [**キャンセル**] をクリックします。

3. 使用するディスクの種類 (CD または DVD) を選択し、[**OK**] をクリックします。中止するときは [**キャンセル**] をクリックします。[OK] を選択すると、ダイアログが表示され、リカバリー イメージの作成に必要なディスク枚数が示されます。



4. 書き込みソフトウェアから、ブート可能な CD/DVD の作成を選択します。ブート イメージ ファイルを求められた場合は、イメージ ファイル F:¥boot.ima を使用します。書き込みソフトウェアでブート フロッピー ディスクが必要な場合は、[**ブート フロッピーの作成**] をクリックし、書き込みソフトウェアでそのブート ディスクを使用します。

5. [**次へ**] をクリックして先に進みます。中止するときは [**キャンセル**] をクリックします。



6. CD/DVD にコピーするファイルを選択し、[**次へ**] をクリックします。中止するときは [**キャンセル**] をクリックします。



7. 選択したすべてのファイルがリカバリー CD/DVD にコピーされたら、[**完了**] をクリックします (それ以上ディスクが必要でない場合)。中止するときは [**キャンセル**] をクリックします。

7 Recover Pro のオプションを設定する

この章では、FirstWare Recover Pro の [オプション] ダイアログで利用可能な次のタスクに関する指示について説明します。

- 情報を表示する
- 復元ポイント作成のスケジュールを設定する
- Recover Pro を無効および有効にする
- パスワードを設定する
- 増分復元ポイント パーティションの残り領域が少なくなったときのメッセージを設定する
- この章では、このアプリケーションをアンインストールする方法も説明します。

Recover Pro ディスク領域に関する情報を表示する

Recover Pro パーティションの概要を表示することができます。スタティック復元および増分復元用に利用可能なディスク領域や復元ポイントの名前および数を表示することができます。

情報を表示するには

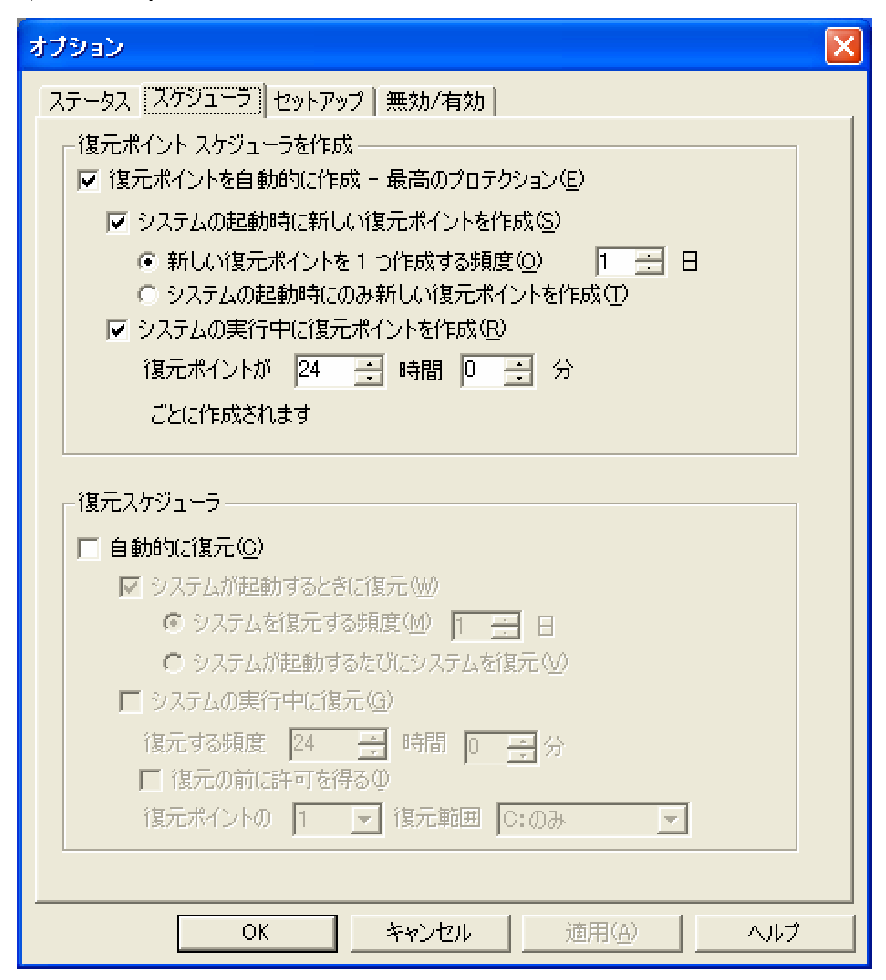
- Recover Pro メイン画面で [**表示**]、[**オプション**] を選択して、[オプション] ダイアログ ボックスを表示します。

復元ポイントを自動的に作成する

増分復元ポイントを一定の間隔で、または起動時に作成するよう、Recover Pro を設定することができます。

復元ポイントの自動作成のスケジュールを設定するには

1. Recover Pro メイン画面で、[**表示**]、[**オプション**] を選択します。
2. [**スケジューラ**] タブをクリックして、[スケジューラ] ダイアログを表示します。



3. オプションを選択して、復元ポイントの頻度を選択します。

[復元ポイントを自動的に作成] - 下の選択肢をチェックして有効にします。

- **[システムの起動時に新しい復元ポイントを作成]** - 起動時に毎回、PC が自動的に増分復元ポイントを作成します。
  - ➢ **[新しい復元ポイントを 1 つ作成する頻度 N 日]** - (1 〜 30 日まで) このオプションを選択した後は、設定した日数ごとに PC が復元ポイントを作成します。これらの日数は累積されません。例えば、設定が 2 日ごとで PC が 6 日以内に起動されない場合は、起動時に Recover Pro が自動的に作成する復元ポイントは 1 つだけです。
  - ➢ **[システムの起動時にのみ新しい復元ポイントを作成]** - Recover Pro は、起動するたびに復元ポイントを作成します。
- **[システムの実行中に復元ポイントを作成]** - このオプションを使うと、1 〜 720 時間の作業中に復元ポイントを作成できます。このオプションを選択すると、設定に基づいて、システムが作動している間に複数の復元ポイントを作成できます。

4. 完了したら [**OK**] をクリックします。

Recover Pro は Windows のバックグラウンドで実行を続け、他のアプリケーションに影響しません。

注記

Recover Pro **が復元ポイントを作成する間に、アプリケーションがハード ディスクに読み書きを行うと、復元ポイントに影響する場合があります。**Recover Pro **は、復元ポイントの作成を止め、通常の作業には影響しません。**

復元ポイントまで自動的に復元する

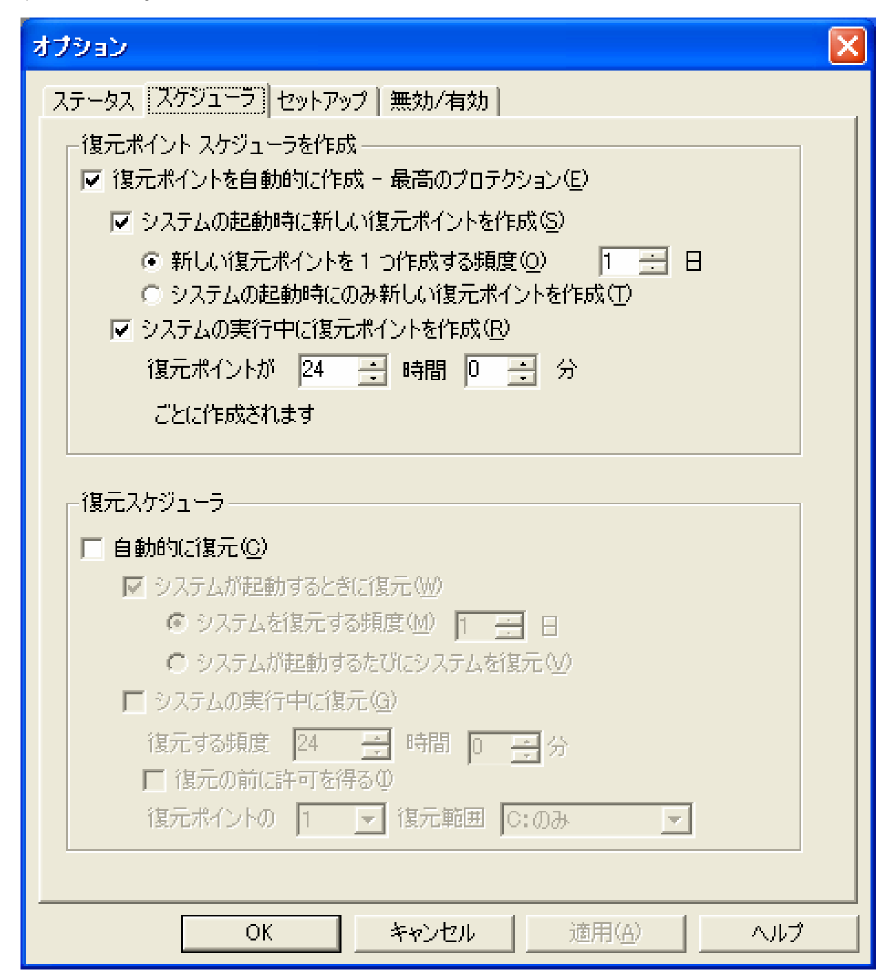
一定の間隔で、または起動時に、選択したスタティック復元ポイントあるいは増分復元ポイントに自動的に復元するよう、Recover Pro を設定することができます。工場出荷時復元ポイントに自動的に復元するようスケジュールを設定することはで*きません*。この設定は、定期的に PC を前の状態に戻したいときに便利な場合があります。

注意 !

選択した復元ポイントが作成された後で作成されたファイルはすべて、システムがその復元ポイントに復帰すると、削除されます。

自動復元のスケジュールを設定するには

1. Recover Pro メイン画面で、[**表示**]、[**オプション**] を選択します。
2. [**スケジューラ**] タブをクリックして、[スケジューラ] ダイアログを表示します。



3. [復元スケジューラ] 領域で、オプションを選択し、復元の頻度を選択します。

   [自動的に復元] - 下の選択肢をチェックして有効にします。

   - **[システムが起動するときに復元]** - 選択したラジオ ボタンに従って、システム起動時に選択した復元ポイントに PC が自動的に復元します。
     - **[システムを復元する頻度 N 日]** - (1 ～ 30 日まで)
       このオプションを選択した後は、設定した日数ごとに PC が復

元ポイントに復元します。これらの日数は累積されません。例えば、設定が 2 日ごとで PC が 6 日以内に起動されない場合は、起動時に Recover Pro が自動的に復元するのは 1 回だけです。

  - **[システムが起動するたびにシステムを復元]** - Recover Pro は、起動するたびに選択した復元ポイントに復元します。

- **[システムの実行中に復元]** - このオプションを使うと、1 ～ 720 時間の作業中に選択した復元ポイントに復元することができます。
  - **[復元の前に許可を得る]** - システムが作動している間に復元を開始する前に、メッセージが表示されます。
- **[復元ポイントの ID 番号 N 復元範囲]** - 自動的にシステムを復帰させたいスタティック復元ポイントあるいは増分復元ポイントの ID 番号 (Recover Pro メイン画面に表示される) を選択します。復元したいのはディスク全体かパーティションかを指定します。

4. 完了したら [**OK**] をクリックします。

   Recover Pro は Windows のバックグラウンドで実行を続け、他のアプリケーションに影響しません。

注記

***増分復元ポイント*に復帰すると、そのポイントの後で作成された既存の増分復元ポイントはすべてクリアされます。**

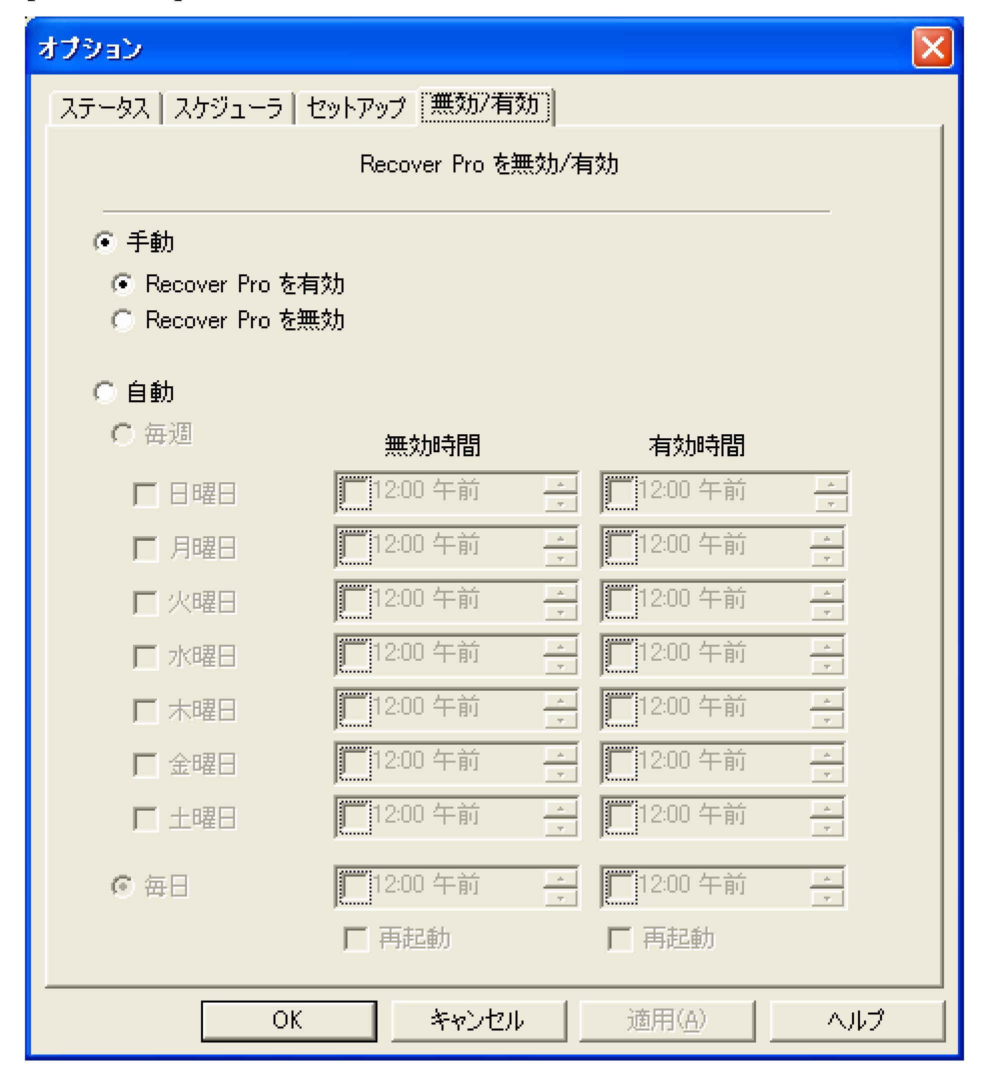
***スタティック復元ポイント*へ復帰すると、増分復元ポイントはすべて永久に削除されます。**

Recover Pro を使用可能および使用不可にする

Recover Pro を使用不可にするなど、いくつかの [セットアップ] オプションを設定することができます。Recover Pro を使用不可にすると、復元ポイントはすべて自動的にクリアされます。

オプションを設定するには

1. Recover Pro メイン画面で、[**表示**]、[**オプション**] を選択します。
2. [**無効/有効**] タブをクリックします。



3. オプションを選択します。

   [**Recover Pro を有効**] は、ハード ディスクの読み書き情報およびバックアップ情報を監視します。これを選択すると、新しい復元ポイントを作成したり、復元ポイントの名前を変更したり、復元ポイントを削除したりできます。

   [**Recover Pro を無効**] はハード ディスクを再構築する、またはバックアップする必要がない不要なファイルを削除するなどの必要があるとき、Recover Pro を使用不可にすることができます。

4. [**適用**] をクリックします。

Recover Pro を無効にすると、次のような警告が表示されます。「既存の増分復元ポイントはすべて削除されます。削除しても良いですか?」

操作を続け Recover Pro を使用不可にしたい場合は、[**はい**] をクリックします。

注意！

Recover Pro **を使用不可にすると、復元ポイントはすべて自動的にクリアされます。**

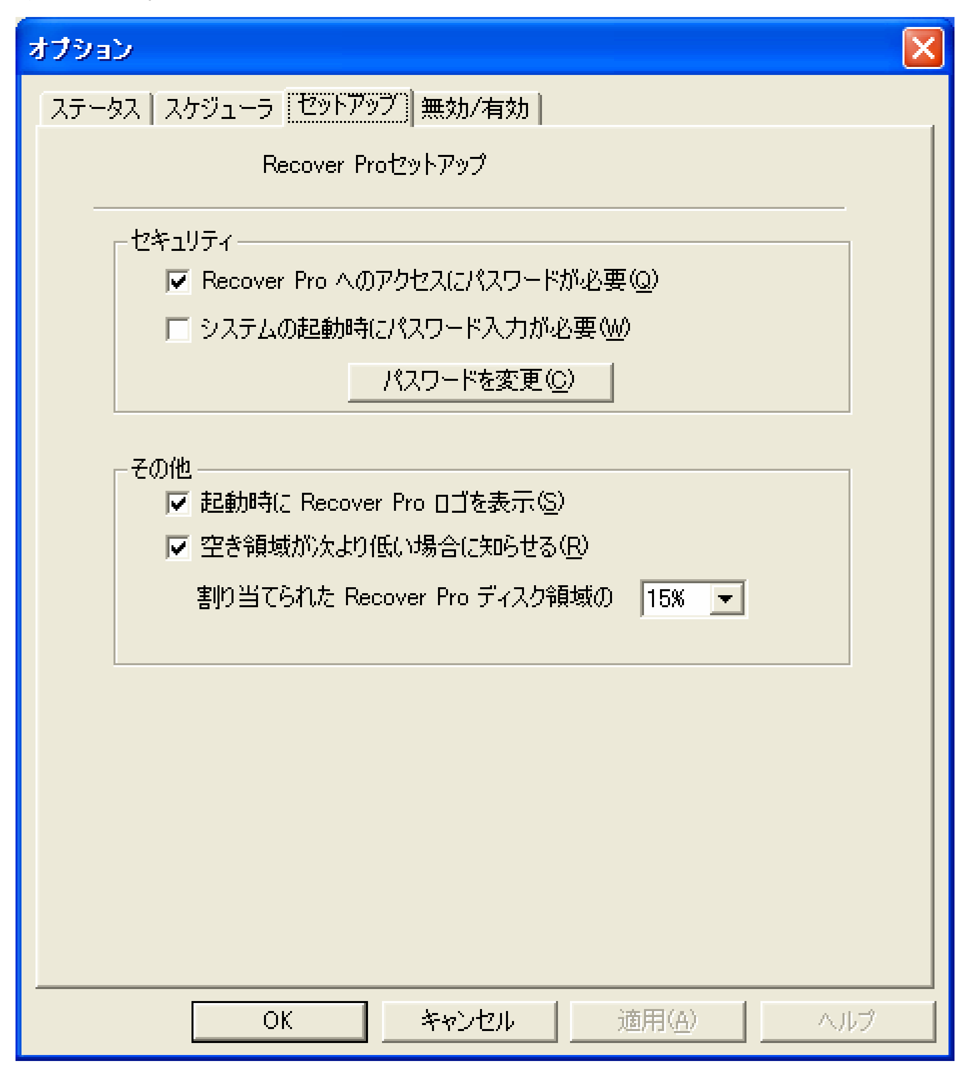
パスワードを設定する

Recover Pro のパスワードオプションを設定あるいは変更することができます。パスワード保護の下では、コンピュータが権限のない人物に使われる心配をする必要がありません。Recover Pro は、権限のないユーザーがハード ディスクにアクセスするするのを防ぎ、さらにセキュリティ レベルを高めています。

パスワード オプションを設定するには

1. Recover Pro メイン画面で、[**表示**]、[**オプション**] を選択します。

2. [**セットアップ**] タブをクリックして、[セットアップ] ダイアログを表示します。



3. [セキュリティ] オプションを選択します。

[Recover Pro へのアクセスにパスワードが必要]

[システムの起動時にパスワードが必要] - システム起動時に、Recover Pro はパスワードを要求します。間違ったパスワードを 3 回入力すると、システムは自動的にロックします (再起動後に再び入力できます)。

[パスワードを変更] - このボタンをクリックして、[パスワード] ダイアログ ボックスを表示します。現在のパスワードを入力します。希望する新しいパスワード (最大 8 文字) を入力し、確認のため、そのパスワードを再入力します。

4. [**OK**] をクリックします。

注記

Recover Pro を実行する、あるいは Recover Pro をアンインストールするときに、新しいパスワードが必要なパスワードとして認識されます。[システムの起動時にパスワード入力が必要] を有効にしている場合は、このパスワードもシステム起動時に必要です。パスワードを記憶し、秘密にしておいてください。

起動時に Recover Pro ロゴを表示する/表示しない

Recover Pro の [オプション] ウィンドウのセットアップ ページには、起動時に Recover Pro を有効または無効にする便利な方法が備わっています。

起動時に Recover Pro ロゴを表示する、または表示しないためには

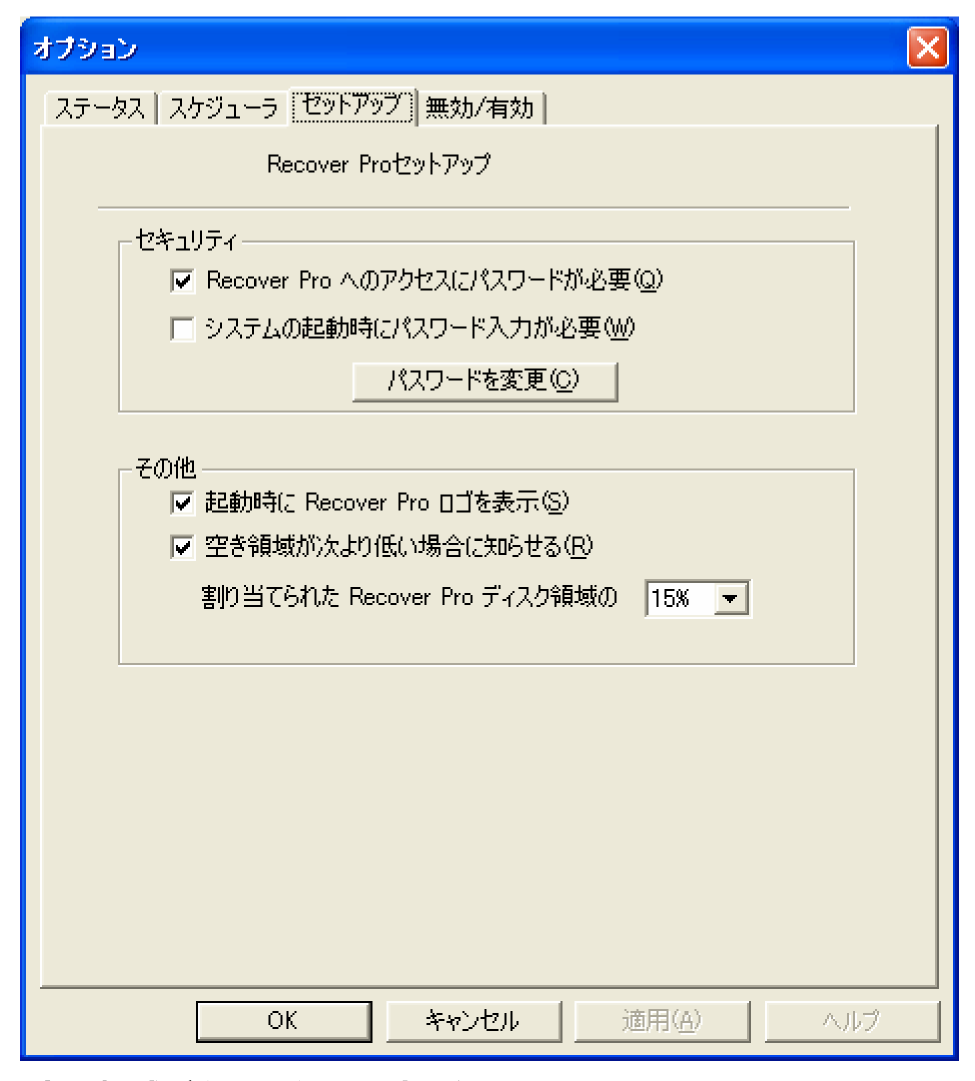
1. Recover Pro メイン画面で、[**表示**]、[**オプション**] を選択します。
2. [**セットアップ**] タブで、[**起動時に Recover Pro ロゴを表示**] のチェックマークを付けるか外すかします。
3. [**OK**] をクリックします。

空き領域不足メッセージを設定する

Recover Pro パーティションの空き領域が合計領域サイズの指定割合よりも少なくなった場合に、ポップアップ警告を表示するように設定できます。ポップアップが表示されたら、増分復元ポイントを削除できます。33 ページの「*増分復元ポイントを削除する*」を参照してください。

起動時に Recover Pro ロゴを表示する、または表示しないためには

1. Recover Pro メイン画面で、[**表示**]、[**オプション**] を選択します。
2. [**セットアップ**] タブをクリックして、[セットアップ] ダイアログを表示します。



3. [**空き領域が次より低い場合に知らせる**] のチェックマークを付けるか外すかします。

4. ドロップダウン メニューからパーセントを選択します。
5. [**OK**] をクリックします。

注記

増分復元ポイントを削除できるのは、空き領域が [オプション] ダイアログで指定した割合を下回ったときだけです。

8 Recover Pro の工場出荷時イメージを復元する

Recover Pro のリカバリー オプションの 1 つに、ハード ディスクを工場出荷時の設定に復元するオプションがあります。この機能には起動用フロッピー ディスクは必要ありません。オペレーティング システムがブート不可能な場合や不安定な状態にある場合、リカバリー モードでシステムを工場出荷時の設定に戻すことができます。

工場出荷時復元ポイントが行う復元

注記

FirstWare Recover **を実行する前に、このセクションをよく読みください。**

このアプリケーションを実行すると、ハード ディスクの現在のファイルは上書きされます。リカバリーのプロセスおよびその結果ファイルが失われることをよく理解してください。リカバリーを行うと元の状態に戻すことはできません。リカバリーを行う前にこのセクションをよく読んで理解してください。53 ページの「*工場出荷時復元ポイントへいつ復帰するか*」も参照してください。

ハード ディスクのプリインストール イメージ

FirstWare Recover Pro は、ハード ディスクに工場出荷時のプリインストール イメージをコピーします。プリインストール イメージをコピーすることによって、Windows などのオペレーティング システムや他のシステム ファイル、ソフトウェア アプリケーションやユーティリティを、コンピュータを購入したときの状態に戻します。

ファイルの上書きとファイルの喪失

リカバリーを実行すると、プライマリ ハード ディスク (あるいはプライマリ パーティション―次の段落を参照) に指定されたドライブに存在する内容が、ハード ディスクのプリインストール イメージによって上書きされます。指定したドライブに追加したファイルや、ダウンロードしたファイル、また作成したファイルはすべて失われます。

対象となるドライブやパーティション

ハード ディスクが 2 つ以上存在する場合、通常、システム ファイルを格納しているプライマリ ドライブ (通常は C ドライブ) のみがリカバリーの対象となります。このドライブには、MS Word で作成したファイルやグラフィック ファイルなど、ユーザーが作成したデータ ファイルが格納されている可能性があります。

プライマリ ドライブがパーティションで分割されている場合 (例えば C ドライブと D ドライブに分割)、システム ファイルを格納している C パーティションのみを回復するか、ハード ディスク全体を回復するかを選択できます。

注記

[ブート パーティションを回復する] オプションはすべてのユーザーが利用できるとはかぎりません。

注意!

FirstWare Recover Pro **を実行すると、システムは工場出荷時の設定に戻ります。ブート パーティションだけではなくハード ディスク全体を回復した場合、システムが存在するハード ディスクに格納されている、お客様が作成したデータ (ファイル) すべてと、システムにインストールしたすべてのアプリケーションが失われます。増分復元ポイントもすべて失われます。**

工場出荷時復元ポイントへいつ復帰するか

FirstWare Recover Pro を使って工場出荷時復元ポイントへ復帰すると、次の状況でディザスター リカバリーを提供することができます。

- オペレーティング システムが起動できない。例えば、Windows が起動しません。
- システムが不安定である。これはオペレーティング システムのクラッシュ、ハード ディスクのスクランブル、ソフトウェア ワーム、ウィルス攻撃などが原因として考えられます。アプリケーションが正しく機能しない場合は、不安定なシステムが原因である可能性があります。
- ハード ディスクを工場出荷時の状態に戻したい場合。
- コンピュータ製造元のテクニカル サポートは、FirstWare Recover Pro の Factory Restore オプションを実行することを勧めます。

FirstWare Recover Pro の Factory Restore オプションは、システムが作動しておらず他に方法がない場合だけ実行してください。その前に、Recover Pro で増分復元ポイントやスタティック復元ポイントへ復元したり、Windows の システム クリーンアップ ツールで一時ファイルを削除したりしてください。FirstWare Recover Pro の [工場出荷時復元] オプションは、通常、システムを全面的に回復する (ハード ディスクを消去して工場出荷時のプリインストール状態を再現する) 以外に、コンピュータを再び正常に機能させる手段がない場合に使用します。

FirstWare Recover Pro の [工場出荷時復元] オプションを実行する前に、51 ページの「*工場出荷時復元ポイントが行う復元*」を参照してください。

工場出荷時復元ポイントに復元する方法

元の工場出荷時復元ポイントへハード ディスクを復元するには 2 つの方法があります。

- システム起動時に「ホット キー」を使う方法。Windows が機能していないときは、この方法を使います。cME Console に Recover Pro アイコンが表示されます。
- Recover Pro Windows アプリケーションを使う方法。Windows が機能しているときは、この方法を使います。

両方の方法についてここで詳しく説明します。

システム起動時に工場出荷時復元を始めるには

1. コンピュータの電源を入れます。すでにコンピュータが起動している場合はリブート (再起動またはリセット) してください。
2. 起動後、画面に何か (ロゴ、画像、テキスト) が表示されたら、すぐに **F4** キーを*押し続けます*。(通常は **F4** キーが Recover Pro を起動する「ホット キー」です。このホットキーでうまく行かない場合は、PC 製造元に問い合わせてください。)

cME Console 画面が表示されます。これは、cME 隠しパーティションのアプリケーションにアクセスするための画面です。



注記

Phoenix cME Console **の初期画面が、この図と一致しない場合があります。使用可能なアプリケーションの数は一定ではありません。**

3. 言語を変更するときは [設定]、[言語を変更] をクリックします。Language and Resolution セクションで、希望の言語をクリックし、[**適用**] ボタンをクリックして、選択した言語を確定します。
4. 機能メニューの [保護／リカバリー] をクリックします。Phoenix FirstWare Recover Pro をクリックします。

   FirstWare Recover Pro の選択画面が表示されます。
5. 「*cME 版 Recover Pro を実行する*」のセクションに進んでください。

Windows から工場出荷時復元を始めるには

1. [**スタート**]、[**プログラム**]、[Phoenix cME]、[Phoenix FirstWare Recover Pro 2004] を選択して、Recover Pro を実行します。
2. Recover Pro 以外のアプリケーションをすべて閉じます。4 ページの「*インストールする前に*」を参照してください。
3. Recover Pro メイン画面で、工場出荷時復元ポイントをハイライトします。
4. [**復元ポイント**]、[**復元**] を選択します。

   [工場出荷時復元] ダイアログ ボックスが表示されます。
5. 確認画面で [**OK**] をクリックします。

   Recover Pro はハード ディスクの保護された領域にアクセスし、cME 版 Recover Pro を実行します。

   FirstWare Recover Pro の選択画面が表示されます。
6. 56 ページの「*cME 版 Recover Pro を実行する*」のセクションに進んでください。

cME 版 Recover Pro を実行する

cME 版 Recover Pro の実行に関する一般的な情報

cME 版 Recover Pro を実行するのは簡単です。FirstWare Recover Pro を起動したら、言語を選択し、次に使用許諾契約書に同意し、リカバリーのタイプを選択します。リカバリーを続行してもよいことが確認されると、FirstWare Recover Pro はハード ディスクのイメージを工場出荷時の状態に戻します。リカバリーのプロセスは画面で確認することができます。

オプションを選択する

通常、FirstWare Recover Pro の実行中にマウスを使うことができるので、オプションを選択するのにマウスでクリックしてください。

マウスが使用できない場合は、**Tab** キーを押して実行したいオプションをハイライトし、**Enter** キーを押して選択してください。

cME 版 Recover Pro を実行する方法

cME 版 Recover Pro にアクセスしたら、次の手順に従ってください。(cME 版 Recover Pro にアクセスするには、「*システム起動時に工場出荷時復元を始めるには*」および「*Windows から工場出荷時復元を始めるには*」を参照してください。)

1. 選択画面で [**工場出荷時復元**] を選択します。
2. 使用許諾契約書を読み、[**適用**] をクリックして次に進みます。

> **注記**
>
> **すでに使用許諾契約書に同意している場合、この画面は表示されません。**

([**同意しない**] を選択した場合、FirstWare Recover Pro は終了し、システムが再起動されます。リカバリーは実行されません。)

3. [リカバリー タイプの選択] 画面が表示されます。



4. リカバリーのオプションを選択します。
   - 実行したいオプションをクリックするか、
   - *Tab* キーを押して実行したいオプションをハイライトし、スペースバーを押します。

注記

[ブート パーティションを回復する] オプションはすべてのユーザーが利用できるとはかぎりません。

[ブート パーティションを回復する] — ハード ディスクがパーティションで分割されている場合でブート パーティションだけを回復したいとき、このオプションを選択します。

[ドライブ全体を回復する] — ドライブをパーティションで分割していない場合やドライブ全体を回復したいときにこのオプションを選択します。プライマリ ドライブ全体がリカバリーされます (通常は C ドライブ)。

[キャンセルして終了] — FirstWare Recover Pro をこの時点で実行したくない場合に、このオプションを選択します。

注記

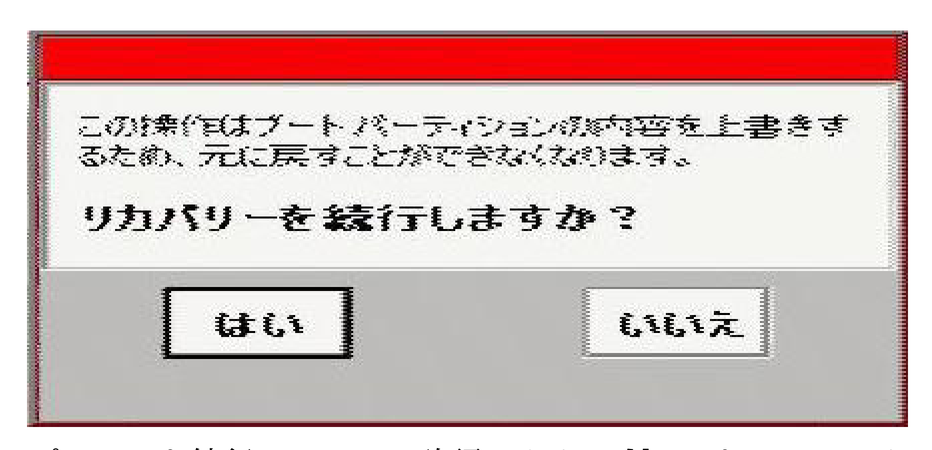
どのオプションを選択するかわからない場合で削除するファイルを最小限に抑えるには、まず [ブート パーティションを回復する] を選択してください。

もし、1 番目のオプションを選択した後、リカバリーでオペレーティング システムを再インストールできなかった場合 (「*リカバリーの完了*」を参照)、FirstWare Recover Pro を再び実行し、2 番目のオプション [ドライブ全体を回復する] を選択してください。

注意 !

まだハード ディスクをパーティションで分割していない場合は、[ブート パーティションを回復する] を選択することを推奨します。

オプションを選択すると、確認ダイアログ (下の図と同じか同様のダイアログ) が表示されます。



5. プロセスを続行してよいか確認します。[**はい**] をクリックすると、リカバリーのプロセスが始まります。マウスを使用していない場合は、**Tab** キーで [はい] を選択し、**スペース バー**を押します。

   ([**いいえ**] を選択すると前の画面に戻り、FirstWare Recover Pro を終了することができます。)

   リカバリーが始まり、FirstWare の進行状況画面が表示されます。これ以降は項目を選択する必要はありません。

注意！

FirstWare Recover Pro **を実行すると、システムは工場出荷時の設定に戻ります。ブート パーティションだけではなくハード ディスク全体を回復した場合、*システムが存在するハード ディスクに格納されている、お客様が作成したデータ (ファイル) すべてと、システムにインストールしたすべてのアプリケーションが失われます。***

リカバリーのプロセスを監視する

FirstWare Recover Pro の進行状況画面では、リカバリーの進行状況を画面で監視できます。



リカバリーの実行中に、画面にリカバリーに関する情報が表示されます。

- 回復された割合
- 経過時間
- 推定残り時間

  リカバリーを完了するまでにかかる時間は、リカバリー イメージの大きさとシステム パフォーマンスによりますが、約 5 ～ 10 分から 1 時間です。工場出荷時にプリインストールされたアプリケーションやユーティリティが多いほど、リカバリーに要する時間が長くなります。

- 回復されたデータの容量 (KB)

[キャンセル] — [**キャンセル**] を選択するとリカバリーが中止され、システムを起動できない状態になります。リカバリーを後で再開する場合にのみ [**キャンセル**] を選択することをお勧めします。

リカバリーの完了

リカバリーに成功した場合、自動的に次の処理が行われます。

- FirstWare Recover の進行状況画面にリカバリー率 100% と表示され、画面が終了します。
- コンピュータが再起動します。
- オペレーティング システムが起動し、デスクトップが表示されます。

オペレーティング システムが起動できればリカバリーに成功しています。

オペレーティング システムは正常に機能し、初期導入済みのアプリケーションも使用可能な状態で正常に機能しているはずです。ただし、個人的なデータ ファイルは失われています。

FirstWare Recover Pro の工場出荷時復元イメージは、システムの保護領域に格納されているので、再度必要な場合に実行することができます。

問題に対処する

リカバリーのプロセスで問題が発生した場合、エラー メッセージが表示されます。その場合、リカバリーに失敗した可能性があります。

エラー メッセージが表示された場合は次の指示に従ってください。

- エラー番号とエラー メッセージを書き留めてください。
- コンピュータ製造元のテクニカル サポートに問い合わせてください。

索引

C

F

R

W

あ

お

か

こ

さ

し

す

そ

つ

て

な

は

ふ

へ

ほ

み

め

ろ